

22 盛 議 号 外

平成 22 年 10 月 18 日

議 員 各 位

盛岡市議会議長 佐 藤 栄 一

要望書（緊急経済対策事業への支援に関する要望について）の送付に
ついて

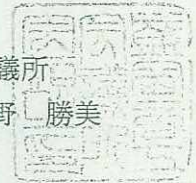
このことについて、盛岡商工会議所 永野勝美会頭から盛岡市議会議長あて要望書
が提出されましたので、その写しをお送りいたします。



盛商発第996号
平成22年10月13日

盛岡市議会議長 佐藤 栄一 様

盛岡商工会議所
会頭 永野 勝美



緊急経済対策事業への支援に関する要望について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より当所の運営に際しましては、特段のご指導並びにご協力を賜り衷心よりお礼申し上げます。

我が国経済は、一部持ち直しの傾向があるものの、県内経済は今だに浮揚することがかなわず、管内事業所は、消費ニーズの多様化、消費購買額の減少、加えて郊外に立地する大型のショッピングセンターや専門店との競争激化によりその体力は消耗しきっております。

このまま、地元商業者の廃業や中心市街地の空洞化が加速することになれば、地域経済はもとより、地域全体にも多大な影響を及ぼすことが危惧されます。

また、円高等の影響により、製造業を取り巻く環境も厳しく、特に工業振興については四十四田工業団地の造成など活性化を図っているものの、旧玉山地区事業所の上下水道使用料金見直し等による経費負担の増大で、企業経営への影響が懸念されております。

こうした中、当商工会議所では中小・小規模事業者に対し、その経営基盤の安定強化のため、経営上の相談にきめ細かく対応するとともに、「地域振興商品券の発行」や「地産地消の推進」等により地域流通を促進させ、落ち込んでいる消費需要を喚起することで、地域経済を活性化させるべく懸命に取り組んでまいりました。

現下の経済状況においては、地域の経済や雇用を根幹で支えている中小・小規模事業者が本来有する活力を取り戻し、地域経済を再生することが喫緊の課題であり、その力を最大限に発揮できるよう、各種経済対策の迅速かつ切れ目のない景気浮揚策の実施とともに工業振興・観光振興など各般にわたるご支援が必要と考えます。

については、下記事由により早急に経済対策事業の必要性をご検討いただき、当商工会議所への事業支援など関係部署に対しても強く働きかけをお願いいたしたく、特段のご高配をお願い申し上げます。

敬具

記

1 地域循環型経済の推進について

経済社会のグローバル化が進展するなか、地域経済の環境は一層厳しい状況下にあり、地域経済の活性化には、地域の財を地域内で流通させ、地域に財を呼び込み、地域外に財を売

り込むことが重要であります。

地域住民の理解と支持を得ながら、地域の循環性を確保するため、地域の財は地域で消費・発注するとともに地域住民のニーズの高い地域振興商品券事業や地産地消事業への支援をお願い申し上げます。

2 工業振興諸施策について

旧玉山地区の上下水道料金については、過般関係団体による懇談会が開催され、市水道局の見直し案が提示されました。合併特例措置の消滅により負荷される使用料は、中小・小規模事業者にとって過大な負担となることが見込まれます。

更に、都市計画税等の見直しも実施されることになれば、特にも現在の厳しい経済状況下での負担の増大は、当該地区における事業の継続に重大な支障が生じる恐れがあり、地場企業の域外流出及び当市の雇用情勢に重大な影響を及ぼすことが懸念されます。ついては、地場企業の雇用確保ならびに着実な工業振興を図るため、負担の軽減措置をお願い申し上げます。

3 観光振興諸施策について

盛岡さんさ踊りや北上川ゴムボート川下りのギネスブック登録、台湾での「どんど晴れ」再放送などをきっかけとして、今後増加が見込まれるインバウンドに対し、市内観光施設の外国語表示などインフラの整備について早急な対策が必要と思われれます。

また、本年12月に東北新幹線が青森まで延伸されることに伴い、首都圏では北東北3県がクローズアップされております。これを契機に盛岡市の広域観光の拠点性を高め、さらに、来年は当市中心市街地活性化計画の主要事業であります「もりおか歴史文化館」の開館や小岩井農場開園120周年を迎えることから、周辺町村との広域連携による観光振興事業の実施への支援をお願い申し上げます。

以上

平成22年10月18日

議員各位

盛岡市議会議長 佐藤栄一

請願の措置状況報告について

平成22年9月定例会において採択した次の請願の措置状況報告が、別添のとおりありましたのでお知らせいたします。

記

請願名 私学教育を充実・発展させるための請願

22盛教総号外
平成22年10月12日

盛岡市議会議長 佐藤 栄一様

盛岡市教育委員会
委員長 川村 登

採択請願の処理結果報告について

平成22年9月29日付け22盛議議第109号で報告を求められたこのことについて、別添のとおり報告します。



採択請願の処理結果報告

部課名等 教育委員会 学務教職員課

請 願 事 項	左 に 対 す る 処 理 状 況
<p>私学教育を充実・発展させるための請願</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 貴市内に設置されている私立高校に対して運営費補助を増額して下さい。 2 貴市の住民で岩手県内の私立高校に在籍する生徒の保護者に対して、就学援助金を給付して下さい。 3 国及び県に対して、過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額を含め、私学助成金を更に充実すること求める意見書を提出して下さい。 	<p>盛岡市では、これまでも私立高校に対し、非常に厳しい財政状況下ではありますが、運営費補助金を交付し、保護者の負担軽減を図ってきております。また、岩手県では、「私立高等学校授業料減免事業補助金交付要綱」に基づき、私立高校に在籍する生徒の世帯のうち、経済的な理由で就学が困難な世帯等に対して、就学援助を行っておりますことから、市独自の更なる制度の創設は、きわめて困難であると考えておりますので、ご理解をいただきたいと存じます。</p> <p>なお、私学助成の充実につきましては、岩手県市町村教育委員会協議会、全国市町村教育委員会連合会を通し、これまでも、国、県に対し、過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額を含め、私学助成金を更に充実するよう要望してきており、今後とも、機会を捉えて要望してまいりたいと存じております。</p>